

第2回基礎ゼミナール懇談会報告

新科目の3年目を振り返り，4年目を見据えて

都市教養学部理工学系・准教授
小林 正典

はじめに

通算第2回となる基礎ゼミナール懇談会が，平成19年12月13日（木）17時から18時まで，6号館401号室で基礎ゼミナール部会とFD委員会との共催で開催された。ご多忙の中参加していただいた約40名の参加者の方々に深く感謝申し上げます。

懇談会の目的は，FD活動の一環として，本年度78クラス開講された基礎ゼミナールを振り返り，現状を確認し，次年度の開講に向けて改善点を探り，また来年度初めて担当される教員も交えてざっくばらんに情報交換を行うことである。

内容は以下の通りであった。

1. 基礎ゼミナールの概略
2. 基礎ゼミナールの実際（話題提供）
3. 今年度のアンケート自由記述から（懇談）
4. 質疑応答

1. 基礎ゼミナールの概略

担当：都市教養学部理工学系（数理科学）小林正典

まず，初めて担当される教員の方にも，基礎ゼミナールという科目を理解していただけるように，基礎ゼミナールについて以下の全般的な事柄について説明した。

成り立ち，目的と特徴，講義形態，クラス人数の決定の仕方，シラバス依頼，成績評価基準の目安，今年度の授業評価の分布。

配布資料：

- ・クロスロード5号の記事「基礎ゼミナール」
- ・クラス編成について過去3年の資料
- ・来年度シラバス作成依頼文

2. 基礎ゼミナールの実際（話題提供）

担当：都市教養学部理工学系（生命科学）青塚正志教授
青塚先生は今年度，2つの基礎ゼミナールクラスを担当された。この稀なケースにおいて，教員が同様の内容で同様に対応して，2クラスの反応が同じになるかどうかについて，興味深い報告をしていただいた。

また，各回のゼミの詳細なメモも貴重な資料としてご提供いただき，大いに参加者の参考になったと思われる。特に，学生の発言を引き出すために，事前にレポートを課して話す題材を準備させておくなどの様々な工夫を伝えていただいた。

3. 今年度のアンケート自由記述から（懇談）

添付資料に基づき，自由に発言をお願いした。以下のような意見・感想が出された。

- ・24名は討論するには多く，教室も狭いので，人数をせいぜい20名に抑えて欲しい。
- ・ゼミを通じて，学生の成長が見られた。
- ・自分から発言することは抑えたが，交通整理は頻繁にした。

4. 質疑応答

例えば，「テクニカルライティングを指導しているか？」という質問が出された。現状では，各ゼミナールでそれぞれの方法で発表技術等の指導をしているのではないかと，という応答があった。

以上。

〔資料〕平成19年度アンケート自由記述から

（学生・教員両方が匿名の資料を基にしています。文章には手を加えてあります。すべてを網羅してはおりません。同一授業の内容でも，肯定的な意見と，否定的な意見が共存しています。参考程度にお考え下さい。）

SE

<担当教員への意見>

問1 この授業について改めて欲しい点を，可能であれば具体的な提案を含めて記述して下さい。（202件）

[シラバスとの不整合]

・・・の勉強ができると思ったのに，・・・のことばかりで興味がわかなかった。

シラバスに書いてあることを実際の授業で行っていることに変更してください。

シラバスを変えないでほしい。

指定された参考文献がいつ必要なのか具体的にシラバスに書いてほしかったです。

[他の予定との不整合]

少し延長が困った・・・。

5限に授業があるので，もう少し早めに終わらせるようにしてほしい。

テスト期間中の施設見学はやめてほしい。

[唐突な連絡]

教員が当日に突然発表させることはやめてもらいたい。
せめて前回の授業までに予告しておいてほしい。
レポート提出や課題発表の日にちを言うのが少し遅い。
週ごとに言うことが変わってしまう。言われた形式で作って
きたpptファイルを全て作り直さざるを得ず、完成度
の低いものになってしまった。

[予備知識も必要]

レポートの書き方をもう少し教えてほしかった。
エッセイの改善点をもっと書いてほしかった。再提出の
とき、どう改善すればよいかわからない。
プレゼン能力向上のレクチャーをもっとしてほしかった
です。

[議論したい]

基礎ゼミなので討論などをしたかった。もっと発言でき
る時間がほしかった。
ディベートをやってみたかった。発表だけでは、せっか
く調べたのにもったいない。
先生が話す授業がほとんどだったので、たいくつでした。
先生の話が長く、生徒が話す時間、発表する時間が短縮
された。
個人の発表のみだったので、グループで話し合う発表も
やりたかった。

[机の配置]

互いの顔を見合う形で討論したかった。
席の座り方が、議論をしやすい形ではなかったので正方
形をつくるように座るべきであったと思う。

[時間が不足]

中間発表から発表までが短かった。もう少し、調べる時
間がほしかった。
講義よりももっと調べる時間を与えて欲しかった。
最終発表の時間をもう少し長くして欲しい。
発表時間が30分程ほしかった。

[その他、教員の進め方について]

先生は遅刻しないでください。
専門用語を使いすぎでよく分かんなかった。
第1回目の授業で、先生に少しでもこの先の授業計画を
考えてきてほしかったです。

[設備が悪い]

ノートPCの起動が遅い。印刷・バッテリーが不便。
パソコン1台では効率が悪かった。グループ1つにパソ
コン1台は必要。
パソコンの教室をつかいたかった。プリンタが教室にな

いのが不便であった。

[他のクラスとの比較]

教師ごとに授業内容が異なりすぎると思った。
他の基礎ゼミよりレポート等が多くて大変でした。

問2 この授業で特に良かった点、他の授業でも取り入
れて欲しい点などを記述してください。(218件)

[課題発見、問題解決、自己表現技術の修得]

レポートの作成の流れを教えてもらったこと。
ディスカッション形式。ディベート重視の授業。
プレゼン・グループワークについての知識を知れて(マ
マ)よかった。
強制的ではあるが、全員が発言するようにしてくれた点。

[自主性]

生徒の自主性を尊重していた所。
自由に作りたいものを決められる。
自由な発想で発言できた点。縛られる事がない点。

[多様な価値観、人間関係の重要性]

他の学部の人と知り合えて良かった。
他よりも先生と話す機会が多かった。
発表でいろんな人の意見などが聞けたのでよかったと思う。

[面白かった、楽しかった、先生が良かった]

先生の補足説明がよかった。
ちょっとしたクイズがおもしろく、また自分で深く考え
るきっかけになった。
ホームルームのような感じの授業で楽しく勉強できた。
先生が明るい。フレンドリー。

[その他]

テキストが良質でした。
実際に訪問しなければわからない情報があってよかつ
た。
探検調査が楽しかったです。
講義形式であった点。プレゼンテーションがなくやりや
すかった。
テストがない。

問3 その他、授業やカリキュラムなどについて、自由
に記述して下さい。(74件)

(ほぼ、上の2問と重なる回答が多かったと思います)

はしか休校で回数が減ったせいかな、時間が短く、やりきれないところもあったのが残念だった。本当に中身が詰まって楽しかったです。

最高!!

先生大好き♪

<その他の意見>

問1 この授業について改めて欲しい点を、可能であれば具体的な提案を含めて記述して下さい。(8件)

[開講時間]

5限はやめてほしい。(4)

5, 6限ぶつづけの授業は辛かった。

[設備]

PCを新しくして欲しい。起動時間が長い。(3)

問2 この授業で特に良かった点、他の授業でも取り入れて欲しい点などを記述してください。(1件)

火曜のこと。(ママ)

問3 その他、授業やカリキュラムなどについて、自由に記述して下さい。(11件)

通年でもよい。週に2~3時間くらいあってもよい。(4)

授業の選択で、希望がなかなか通らなかった。(3)(※H18年度は25件)

TE

問1 この授業を行っていく上で、解決すべき課題があれば具体的にお書きください。(33件)

[学生の参加態度、テーマの設定]

モチベーションの低い学生に対し、参加態度を改善する指導が難しい。(10)

担当教員の専門の宣伝の場ではいけない。反面、専門から離れると適切なアドバイスが難しい。(3)

学生に参加型の授業であることを周知してほしい。(2)

学生の力量に差があり、焦点を絞りにくい。(2)

[時間]

講義時間が足りない。(4)

議論と実習の時間のバランスが難しい。(3)

[人数]

学生が24名では多すぎる。(3)

極端に少なくなくて苦労した。

問2 この授業で、教育効果を高めるために先生が行われている方法・工夫等がありましたらお書き下さい。(26件)

[学生の議論を引き出す]

様々な所属の学生をグループ内に混在させる。(2)

多少、まどろっこしくとも、学生主体、教員は進行係というやり方を貫く。(2)

意欲的でない学生、孤立した学生にこまめに声をかけ、話を引き出すよう努める。

グループワークにする研究発表。

GW中心で、名札をつけて、お茶を飲みながらemotional network。

机を並べ替えた。

[学生に考えを整理させる]

学生に進捗状況報告を行わせ、問題点などを考えさせる。

小レポートを作成・提出させ、それらをまとめた資料を配布し、その資料をもとにグループ討論・全体討論を行った。学生がクラス全員に意見を述べる前に、テキストで印象に残った点をメモさせ、そのメモをもとに発表させた。

グループ毎に質問者と、書記を設定させ、議論の内容を押さえてもらった。(輪番)

すべてパワーポイントによる発表。

質問を毎回レポートに書かせた。

班レポートと個人レポートを課した。

[教材を工夫する]

実習・実験を取り入れている。(3)

現場の実践の話をする。身近なテーマを選択して興味を持たせる。(2)

教材・課題を多く与えた。(3)

チュートリアル形式を基本に、PBLを取り入れ、KJ法による問題点の抽出等を行った。

易しい英語のビデオを見せた。

配布資料はすべてWEB上にアップロードした。

ゲストを呼んだ。(実践とか見学ができなかったため)

[その他]

ケータイのアドレスを教えてもらい、メールで自宅学習の指示をした。はしか休校期間中、有効であった。

テクニカルライティングの指導。